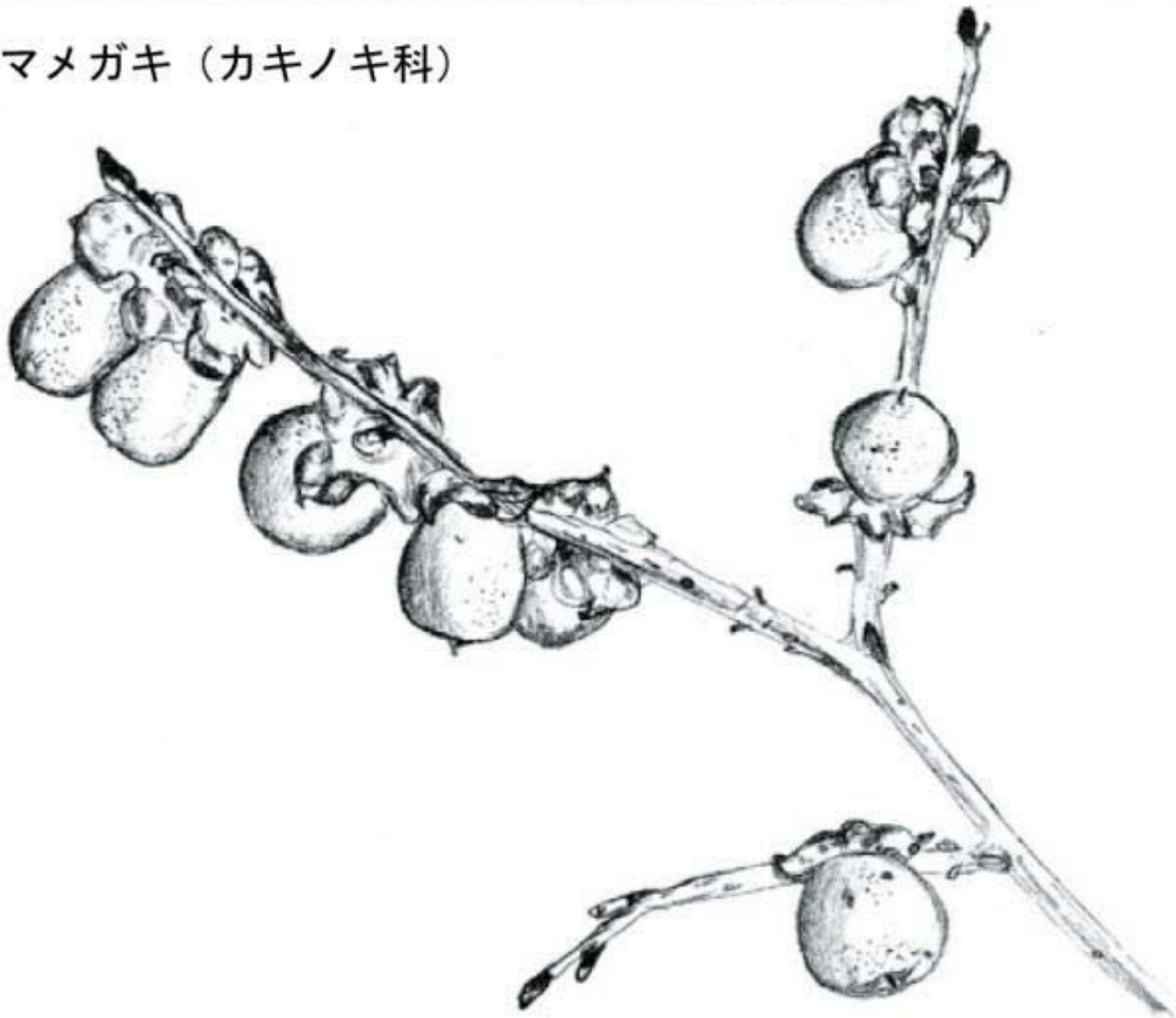


12 森のおくりもの

2010年 12月号

マメガキ (カキノキ科)



イラスト：N. S. (太白区)

師走、早いものでもう1年の終わり。今年を総括すると印象深いのが昨年と比べて異常に暑かった8月・9月。また、キノコがたくさん採れた年でもあり、ドングリの不作が顕著な年でもありました。センター利用者数を見ると8、9月で昨年の30～40%の減少でしたが、太白山の動植物にとってはどうだったのでしょうか？。気になる一年でした。

(武智)

ウソのような、ほんとの名前 「ウソ」

赤いスカーフがお似合いのウソは、見つけるとなんともいえない幸福感に満たされます。冬は普段なかなかみられないウソをじっくり観察する絶好の機会です。

【ウソ】



特徴

オスは赤い頬と太短い嘴が特徴。(メスは赤くありません。) 単独の場合もあるが、3~5羽の小さい群れで移動することが多い

観察の森で見られる場所

観察の森では、過去に「みはらしの道」と「であいの道」で目撃されています。

であうポイント

その①

〔口笛のような声に注意!〕

姿よりも「フィーフィー」という声を耳にすることが多いです。口笛のようなその声は特徴があり、遠くで鳴いていてもわかるほどです。声を手掛かりに姿を探すと、きっと出会えるはずです。口笛で鳴き声を真似すると、返事をしてくれることもあるかも?

その②

〔食べ物のカスを探せ!〕

ウソの嘴は太くて短く、実や芽などを食べるのに適しています。12月~1月はウツギやカエデ、ヌルデなどの木の実、イノコズチや、ミズヒキ、イヌタデなどの草本の種子を食べるそうです。1月~2月は木の実が減少し、膨らんでいる桜の花芽を食べるようになります。嘴を上手に使って、花芽の内部を食べ、外側の部分を嘴で取り除いて捨てます。この地面に落ちた花芽の破片が、ウソを探す手掛かりとなります。

【文・イラスト:黒川】

? ? ク イ ス ? ? ?

【もんだい】 水を飲むときに、下を向いたままでも飲めるのはどれでしょう (下の3つから選んでね!)

- (A) ハシブトガラス
- (B) キジバト
- (C) スズメ

【答えは、6ページ 】



12月の生物リスト



12月に入り、木々の葉っぱも落ちバードウォッチングには最適な季節となりました。11月12日には観察センターの上空を通りすぎる白鳥の群れを確認。森の中にもたくさんの冬鳥たちがやってきました。今回は先月この森で見ること（聞くこと）ができた野鳥たちをまとめてみました。是非、野鳥観察の参考にしてください。それと今月からセンター裏にバードテーブルを設置します。今年は今までのものがかなり古くなったため7年ぶりに新しい餌台を作りました。たくさんの小鳥たちが集まってくれるといいなあ〜〜〜！！

11月の野鳥観察状況

●よくみること(聞くこと)ができた

コゲラ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ハシブトガラス、トビ、カケス、アオジ

●ときどきみること(聞くこと)ができた

ハクセキレイ、ウグイス、キジバト、ペニマシコ、ルリビタキ、シメイカル、マヒワ、カワラヒワ、スズメ、モズ、ミソサザイ

●なかなか見ることができない

ノスリ、アオゲラ、アカゲラ、コガラ、ヒガラ、ウソ、キクイタダキ、オオタカ、ヤマドリ

森の素材でクッキング 朴葉味噌の作り方

朴（ほお）の葉っぱがたくさん落ちていたので飛騨高山地方の郷土料理、朴葉味噌（ほおばみそ）を作ってみました。今回はそのレシピをご紹介します。かんたんなので是非チャレンジしてみてください。

材料 (2人分)

朴葉 2枚
味噌（赤味噌がいい） 100g
みりん 大さじ3
砂糖 大さじ1
ごま油 大さじ2
長ネギ 1/2本
生シイタケ 2個
山椒 少々



- ①朴葉は水に10分ぐらいつけて柔らかくしておく。
- ②ボールに味噌、みりん、ごま油、砂糖、山椒を入れてよく混ぜる。
- ③長ネギはナナメ切りに、シイタケは細切りにして②に混ぜる。
- ④朴葉よりも一回り大きいアルミ箔を敷き朴の葉を乗せその上で③を焼きます。

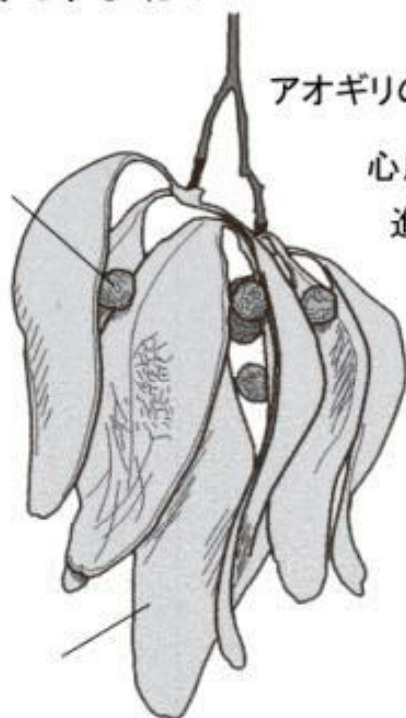
※朴の葉は晩秋に落ちたものを拾い集め、1週間ぐらい塩水につけて陰干ししたのを使います。焼く場合、本来は飛騨コンロを使いますがフライパン等を代用してもよい。ご飯の上ののせて食べたりお酒のつまみにも！生卵をからめたり、山菜、季節の野菜、魚介類、肉など、お好みでバターを混ぜ合わせるとさらに美味しくいただけます。いろいろアレンジしてみてください。【齋】

みんなで自然観察

イベント報告

紅葉の鉤取山ウォッチング

11月13日の鉤取山での観察会は、佐藤康也さん（森林植物研究家）に講師をお願いしました。佐藤さんは、おしゃれなグラサンの似合う元気なおじいさんです。森に入る前に、鉤取山国有林が、植物の遷移を研究するために学術的に価値の高い森であることや、生物多様性という観点から、どんなところに注目して観察したらよいのか説明してくれました。森に入ると、イタヤカエデやイロハモミジなど美しい黄葉（紅葉）が目を楽しませてくれましたが、葉が黄色や赤に染まる化学的な仕組みについても解説してくれました。黄色のカロチノイドはもともと葉が持っていた色素ですが、葉緑素の緑色が失われることにより目立ってくるのだそうです。また、赤に染まるのは、葉の中の糖分がアントシアンという赤い色素に変化するためで、茶色くなるのはタンニンが蓄積するためだそうです。仕組みがわかると、いっそう面白みが増してきますね。葉の色は色素だけではなく、陽射しの加減などでも微妙に変化します。佐藤さんは、ブナの黄葉の時間ごとの移り変わりが、一番好きだそうです。みなさんも、ぜひ自分のお気に入りの色を見つけてみてください。きっと、森に行く楽しみが増えると思います。広場で昼食の後、そこに植えてあったアオギリについて、解説してくれました。種子を食べると、茹でピーナッツのような味がしました。昔は、これを煎ってコーヒーの代用品にしたそうです。他に、花の起源や植物の進化に関する話もあったのですが、私はアオギリコーヒーがどんな味なのか、そのことが気になってしかたありませんでした。とりあえず、なんでも興味を持ったところから入るのが一番ですよ！



アオギリの実（原始的な果実）

心皮は葉が変形したもの。

進化した果実では、

心皮が胚珠（種子）を包んで
子房（果実）に変形している。

生物多様性というものが
どんなものか、おぼろげな
がらでも感じていただけれ
ばと思うわけです。



さとう こうや
佐藤 康也 氏

【文・イラスト: 林】

12月 館長の独り言

最近、年のせいかパソコンにむかっていると以前ほど集中が出来なくなった。目は疲れるわ、脳がうまく働かないわ、おかげで文章をつくるのも以前より時間がかかるようになった。

気分転換がてら観察と次年度予算要求のために施設の状況把握を兼ねてネイチャートレイルを歩き回っていたら、ひざが痛くなり、我慢していたら下りの階段では休み、休み降りないと痛くて歩けなくなった。医者に診てもらったら歩きすぎだといわれ、当分はおとなしく事務所で事務仕事をやるようにとのご宣託を賜ったが、仕事から観察がどうしても必要なのでどうにかならないかといったら、どうにもならないといわれ、最悪の場合手術をととも言われた。

やむなくデスクに向かっているが少しするとお尻が痛くなり、目が痛くなり、気分転換についで窓から見えるイチイの実を食べに来るヤマガラや、軒先に網を張っているジョロウグモ、きれいに色づいた鉤取山の紅葉を観察するようになった。

老化は歯から始まるといわれているようだが、今のところ虫歯は一本もなく、少々硬いものでも大丈夫だが、目だけはいただけない。

家で飼っているイヌも16歳になって目も見えにくいようだし、散歩で歩くのもおぼつかなくなり、耳も聞こえないようでなんだか身につまされる。

太白山は600万年前に、地球は46億年前に誕生したといわれているが、地球の時間的なものさしで見るとお山や人間の寿命など取るに足らない時間かも知れない。



しかし、お山が誕生してから現在までどの様なドラマがこれまで繰り広げられてきたのか、また、これからお山がどのように変化していくのか興味は尽きない。

タイムマシンがあれば是非時間を遡って過去の現場に立ってお山の变化だけでなく、アフリカに起源をはった人類がどの様な経路をたどって太白山まで来て定着し、どの様な生活をしていたのか見てみたいものである。出来れば未来も。

【文：武智英生】



12月の催し



「おはよう野鳥かんさつ」

葉を落とした冬の森の
野鳥たちを観察します。

12月11日(土)
7:00 ~ 8:30

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

「ガイドウォーク」

12月のテーマは『落ち葉を踏みしめて』です
(毎週日曜日)

5日, 12日, 19日, 26日

午前の部 → 10:00 ~ 11:30

☆12月~3月は、午後の部はありません。

★申し込み不要です
自然観察センター前にお集まりください。

クイズのこたえ

(B) キジバト

メジロが蜜を「吸う」と表現されますが、実際はブラシ状の舌先でからめ取るのであって、吸いこむ行動は哺乳類がお乳を吸うために発達させた行動です。ただし、ハトの仲間やキンカチョウなどは下を向いたまま水を飲むことができます。



休館日

6日、13日、20日、27日~31日

年始

2011年1月4日まで

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2010年12月号(毎月1回5日発行)

発行: (財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133